

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p><b>1. 災害時に正確な情報を迅速に伝えるために（30分）</b></p> <p>今年は関東大震災から100年という節目の年です。 南海トラフ地震や東京直下型地震、気候変動の影響による大水害など、今後もいつ甚大な災害が起こるかわかりません。「鶴ヶ島市は災害がすくない町だ」と言われます。しかし、油断は大敵です。 今を生きる私たちが、これまでの災害から多くの教訓を学び、来たる災害による被害を最小化することが、災害で亡くなった方や被災された方の切なる願いでしょう。</p> <p>災害対策はさまざまですが、私は情報伝達に着目しています。災害時こそ情報が必要になるからです。災害の規模や範囲、今後の危険度、インフラへの影響、避難所の場所や機能、どんな物資がどこにあるか、復興状況、ボランティアニーズなど、必要な情報は多岐にわたります。</p> <p>正確な情報を迅速に市民の方へお伝えする責任が、市にはあります。しかし災害時には、情報伝達経路が寸断される場面がしばしばあります。総務省は、高齢者や外国人住民などを「情報難民」として、適切な情報伝達体制の整備を呼びかけています。情報伝達手段をより強固にし、あらゆるケースに対応できるよう備える必要性を感じます</p> <p>災害時にデマが拡散されやすいことはよく知られています。 最近では、生成AIによるフェイク画像が災害時の混乱を助長させています。新しい時代に対応した教育や啓発が必要です。 関東大震災時にはデマを引き金に、多くの朝鮮人や中国人が自警団や警察らの手によって虐殺されました。埼玉県でも熊谷市や本庄市など、複数の地域で虐殺が行われました。関東大震災時の虐殺については、内閣府中央防災会議による「災害教訓の継承に関する専門調査会報告書」や日弁連による「関東大震災人権救済申立事件調査報告書」においても詳細な検証がなされています。東京書籍や山川出版社などが出版している社会科の教科書にも記載がされていま</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>す。関東大震災時の虐殺事件は否定のしようがない史実です。しかし昨今では、一部の歴史修正主義者らによって虐殺の歴史は否定され、歪められています。負の歴史を繰り返さないためにも、過去の過ちに学ぶ教育の重要性を感じます。</p> <p>災害時に正確な情報が迅速に届かなければ、市民の命を危険に晒すこととなります。</p> <p>鶴ヶ島市の災害時情報伝達体制は万全でしょうか。</p> <p>災害時デマに強い町でしょうか。</p> <p>以下質問します。</p> <p>(1) 大規模災害時の情報伝達手段について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 外国人住民への情報伝達手段は</li> <li>イ 高齢者への情報伝達手段は</li> <li>ウ ネット環境が途絶えた場合の代替手段は</li> </ul> <p>(2) 災害時デマに関する教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 生成AIによるフェイク画像などに関するリテラシー教育は</li> <li>イ 関東大震災時の虐殺事件など、災害時デマに関する歴史や事例、対応に関する教育は</li> </ul>	
<p><b>2. 生活困窮世帯へさらなる支援を (10分)</b></p> <p>コロナ禍の影響や物価・光熱費の高騰の影響などにより、生活に困窮している人が増えています。</p> <p>厚生労働省の「生活保護の被保護者調査」によりますと、今年5月の生活保護申請件数は、前年同月比が5ヶ月連続で増加しています。多い月で20%超、少ない月でも10%超の増加率です。</p> <p>賃上げも行われていますが、物価高騰のスピードには追いつかず、実質賃金は6月時点で15ヶ月連続のマイナスとなっています。</p> <p>市民は極めて厳しい暮らしを余儀なくされています。</p> <p>職を失った人、非正規労働者、一人親世帯は言うに及ばず、共働き</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>世帯も生活に困窮している人が少なくありません。</p> <p>国も本市も、さまざまな施策を行っているのは承知しています。ですが、まだまだ足りないと言わざるをえません。</p> <p>さらなる物価高騰対策や困窮世帯への支援など、対応は急務です。</p> <p>以下質問します。</p> <p>(1) 今後予定している物価高騰対策は</p> <p>(2) 子育て世帯への支援は</p> <p>(3) 学校の長期休み時の食事支援は</p> <p>(4) 生活保護について</p> <p>ア 相談件数、申請数、受給数の推移は</p> <p>イ 補足率向上のための広報は</p> <p><b>3. 生成 AI を使った行政業務の効率化とガイドライン（10分）</b></p> <p>ChatGPT などの生成 AI を業務に利用している自治体が増えています。</p> <p>埼玉県は7月、県庁内の業務に ChatGPT の試験導入を始めると発表しました。</p> <p>戸田市は4月、「ChatGPT に関する調査研究事業」の開始を発表しました。他自治体も使えるよう、「自治体業務における ChatGPT の活用ガイド」を作成・発表する予定だそうです。</p> <p>他にも東京都をはじめとして、すでに多くの自治体が、ChatGPT の導入や研究をスタートしています。</p> <p>また、文部科学省は7月に「初等中等教育段階における生成 AI の利用に関する暫定的なガイドライン」を発表しました。</p> <p>このように、生成 AI は業務の効率化や人手不足解消、教育効果の向上などが期待されています。</p> <p>一方で、生成 AI は使い方を間違えれば、個人情報流出などの危険</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>性が指摘されています。</p> <p>生成 AI 利用に関するガイドラインが必要です。</p> <p>以下質問します。</p> <p>(1) 導入自治体事例の把握は</p> <p>(2) 本市では導入しているか</p> <p>(3) 生成 AI に関する利用ガイドラインの策定は</p> <p>(4) 学校への導入と課題について</p> <p><b>4. 自殺対策の優先順位を上げる必要性 （10分）</b></p> <p>女性の自殺が深刻です。2年連続で女性の自殺者数が増加しています。昨年改正されました自殺対策大綱の「自殺総合対策における当面の重点施策」には、「女性の自殺対策を更に推進する」が新たに加えられています。</p> <p>6月定例会の一般質問でも指摘しましたが、LGBTQ+の方々の自殺リスクは非常に高いです。自殺対策大綱にも、「性的マイノリティの方等に対する支援の充実」が強調されています。</p> <p>去年1年間に自殺した児童・生徒の数は過去最多でした。一年のうちで子どもの自殺者数が最も増加するのが、夏休み明けです。</p> <p>また、著名人の自殺報道があった後は、いわゆる「ウェルテル効果」により、自殺が増加すると専門家から指摘されていることも、あらためて強調しておきます。大変に残念なことに、今年の7月には、著名なタレントの自殺が報道されました。こうした自殺リスクが高いタイミングはある程度予測が可能で、対応により防げる可能性があります。</p> <p>自殺対策の優先順位を上げて、本気で取り組む必要があると私は考えます。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) コロナ禍以降、女性への自殺対策で新たに始めたものは</li><li>(2) LGBTQ+に対する支援の充実は</li><li>(3) 夏休み明けの自殺を防ぐためにとった対応は</li><li>(4) 7月にあった著名人の自殺報道直後にとった対応は</li></ol>	